

# JAUW 茨城支部だより 2016 年度-4 号

URL <http://jauw-ibaraki.net/> 2017年2月25日 一般社団法人 大学女性協会(JAUW)茨城支部 発行



梅も咲きほころび春を実感したのも束の間、今朝は淡雪が降り続けています。春は行きつ戻りつ少しずつゆっくり、季節は巡ってくるようです。

世の中の動きも前進と後退を繰り返しながら、進んでいくような気がします。世界は、グローバル化・多様化の方向で前進していただろうと認識していた矢先に、内向きで排他的なアメリカ大統領が誕生しました。メキシコに壁を作ると宣言、難民の入国禁止令と矢継ぎ早に大統領令を出しています。テロを排除し国を守るという堅い信念は理解できるものの、余りにも内向きな政策は後退

と言わざるを言えません。持続可能な世界を維持していくためには、地球規模で様々な取り組みをしなくてはならないからです。

女性政策は、後戻りしないで欲しいものです。戦後 70 年を過ぎて、男女平等政策の法整備はされてきたものの、女性がライフステージで抱える様々な壁は、職場や家庭にあっても大きなものです。わが支部では、若い世代が幸福な人生を歩んで欲しいと願い、今年度最大の目標である本作りに取り組んでいます。単に、伝えるのではなく伝わる本を目指して、追い込みの校正作業に入っています。編集・校正に手間取り、皆様に『YOROI を脱いで』をお見せできるのは 6 月以降になりそうです。そして、出版披露や出前講座を通して販売しながら迎える 2018 年は、茨城支部発足 70 周年になります。皆様のご協力ご支援をどうか宜しくお願い申し上げます。 (支部長：M・K)



## 3月定例会のご案内

### (Y・N) 会員によるオーストラリア海外研修報告

おいしいケーキと紅茶をいただきながら、多文化社会のオーストラリアにおける「女性活躍推進」「子育て支援」「高校でのキャリア教育」の現状など興味深いお話を伺います。

日時 3月12日(日) 13時～

会場 筑波銀行つくば副都心支店 2階セミナールーム2

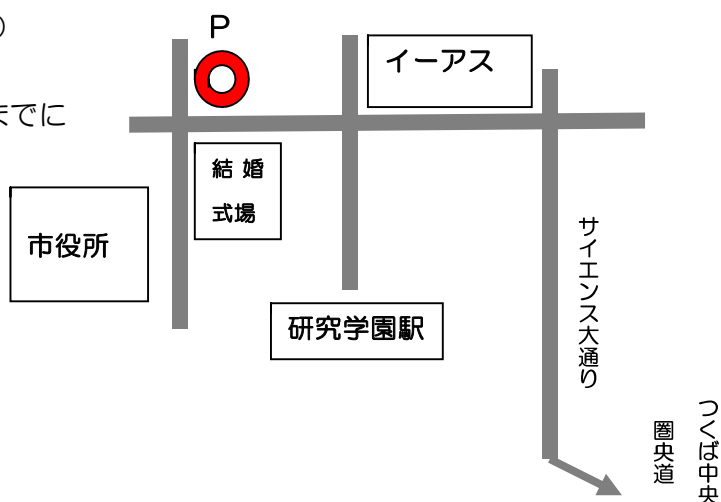
※前回の筑波銀行本店ではありません

※高速道路最寄りIC：圏央道つくば中央

※銀行駐車場は建物北側 駐車料は無料となります

会費 400円(紅茶・ケーキ代)

※出欠は同封ハガキで3月5日までに  
お知らせください。



## 2017年新年会に参加して

平成29年1月28日

水戸プラザホテル「四川飯店」に於いて

講話 「消費者市民社会とは一男女共同参画の視点から」(Y・M) 会員

企画 いきいき茨城ゆめ国体2019ダンス披露 茨城県女子体育連盟



体調を崩されて当日になって欠席という方もおられ、誠に残念ながら参加者19名と少し寂しい会となりました。美味しい料理をいただき、ゆっくりと歓談。その後松本会員の「消費者市民社会とは…」という講和に耳を傾けました。「公正で持続可能」をキーワードにした消費者教育のポイントは、教科の枠を超えた連携・協働であるとのことで、その実践例である小学校での授業の話なども聞くことができました。消費者保護の観点からだけではなく、環境問題を含めた消費者問題等、幅広い観点から消費者の責任を考えていく消費者教育の

必要性を感じました。

最後に「いきいき茨城ゆめ国体 2019 ダンス」の披露があり、教えていただきながら通常よりゆっくりのテンポで踊りました。「今の若い方はフォークダンスをしないので、ツーステップができません。」との言葉にオクラホマミキサーを踊った若い日を懐かしく思いだしたひと時でした。

(N・Y)



## 女性団体等人材育成セミナーに参加して

### ～児童虐待からの再生の鍵「愛着」～

平成28年度「女性団体等人材育成セミナー」が12月11日(日)女性プラザ男女共同参画支援室で行われました。

- ◆ 講話 森田百合子茨城県女性政策統括監  
茨城県男女共同参画第3次基本計画について
- ◆ 講演Ⅰ 内田 聡 茨城大学人文学部教授  
演題 「これからのワークライフバランスを考えるー待機児童はなぜなくなるのか？」
- ◆ 講演Ⅱ 内田 伸子お茶の水女子大学名誉教授  
演題 「～子どもは変わる・大人も変わる～ 児童虐待からの再生の鍵」

親等からの虐待により幼い命が失われていく報道を目にする度に、傷つけられた子供の心と身体を思い心が痛みます。乳児院でボランティアをしている私にとって、今回の内田先生の児童虐待(ネグレクト)から救われ再生した姉弟の話は大変興味深いものでした。

数年に及ぶ虐待から救出された時、姉は6歳、弟は5歳で、二人は身体も小さく言葉も話せません



でした。姉と弟は施設に保護され周囲の人々の養育により健やかに成長し高校を卒業、就職、結婚することが出来ました。

虐待を受けると成長ホルモンは抑制され、また、脳の萎縮による言葉や知能の遅滞、精神疾患の発症など成長や社会性において様々な影響を受けるそうです。二人がそれを乗り越えることができたのは、保育士に対して愛着心（後追い行動）を持てたことがポイントでした。人への愛着が心の成長を促し、社会的やり取りが成立するのだそうです。姉弟は放置されている間成長が止まったままで心に



傷を負っておらずゼロからのスタートだったことも再生に幸いました。心に傷を負ってしまった場合、児童が愛着を持てるようになるまでには相当の時間を要する、もしかしたら持てないままかもしれません。

最後に、姉弟が母子の交流を持つようになり「お母さんが一番好き」と言っていたというのが印象的でした。  
(H・I)

## 2017年度 総会のご案内

- ◆日時 4月23日(日) 13時～
- ◆会場 みと文化交流プラザ(びよんど) 5FミーティングルームA
- ◆内容 事業報告、会計報告と監査、事業計画・予算案と役員の承認、その他(編集員会から校正本の紹介)

※総会の出欠ハガキは、追って連絡致します。



### 編集後記

「ワンオペ育児」という言葉が話題になっている。某牛丼店でひとりの従業員が全業務をこなしていたことが社会問題化した時のワンオペレーションが語源のようだ。いまだ共働き世帯の約8割の夫が家事を全くしないというデータがある。主催する講座でも、育休中のママたちが復職は憂鬱だともらす。ワンオペ育児に突入することが目に見えているからだ。夫の方でも好きでブラック夫になっているわけではない。国の施策はもちろんのことだが、企業のトップがいい加減腰を据えて長時間労働是正に取り組まなければならない時が来ている。  
(M・H)